

# WING NEWS



Honda **FLYING CLUB**  
Honda **FLYING SCHOOL**

223

2013  
FEB.

# 謹 賀 新 年

ホンダフライングクラブ

会長 濱尾 豊

今年は東京から富士山がよく見える朝から始まりました、クラブ員の皆様も清々しい新年を迎えられたものとお喜び申し上げます。

今年は私たちホンダフライングクラブ員にとりまして大きなニュースがございます。ホンダジェットがいよいよ今年ユーザーに引渡しが始まり世界の大空を飛び始めます。又50年ほど前に本田宗一郎氏が描いていた100馬力2人乗りの小型飛行機がLSA（ライトスポーツエアクラフト）の名称で我が国も官民合同の勉強会が昨年末より始まりました。世界の動向に乗り遅れることなくこの分野も発展させて行きたいと思えます。本田技研の中にも次世代航空研究会という有志で構成するグループがあり鳥人間コンテスト出場など活躍しております。本田氏のDNAを引き継いだ将来有望な若者たちなので目を離せません。ホンダフライングクラブは1965年に設立し今年で48年になります。あと2年で50周年を迎えるにあたりクラブ創立者本田宗一郎氏の意思が自動車作りにとどまらず航空の分野においても脈々と引き継がれその夢が実現してゆくことを目の当たりにしてその偉大さに感服いたします。

私もクラブ員の皆様と力を合わせて本田航空社長広瀬様のお力をお借りして微力ながらクラブの発展に努めてゆく所存でございますので本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



# 仕事始めを迎えて

本田航空株式会社  
代表取締役社長 広瀬 文郎

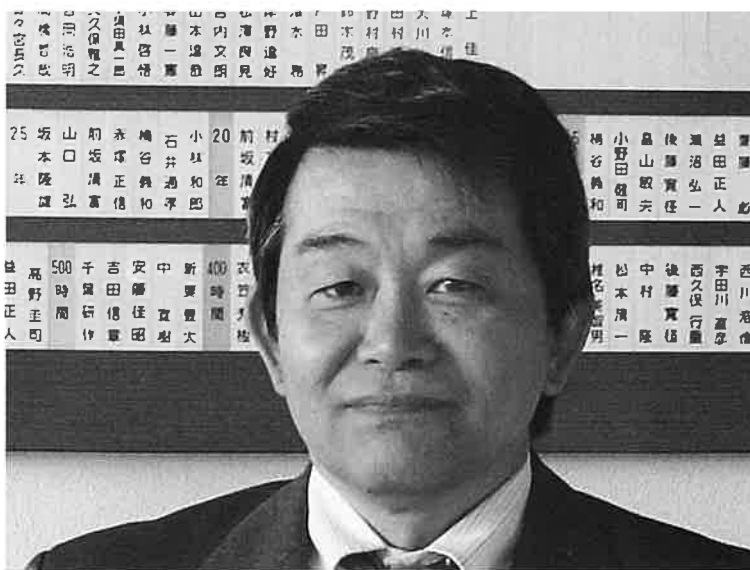
皆様、あけましておめでとうございます。

年末の衆院総選挙で政権が代わり、経済再生への熱い想いから、為替や株価が反応していますが、本当に成長局面に移っていくのは、まだまだ先のことでしょうから、今年も兜の緒を引き締めて経営に当たりたいと思っています。

昨年は、会員の方々へ「G58 Baron（双発機）の体験操縦」と「シニア会員（65歳以上の会員）限定フライトパッケージ」という2つの新しい企画をお届けし、参加者からは好評をいただくことができました。今年は、来年（2014年）4月1日より特定操縦技能審査制度が施行となることから、その審査の機会を積極的に提供していきたいと考えています。

ビジネスでは、回転翼は引き続き埼玉・栃木の消防防災ヘリや獨協医科大学病院のドクターヘリの安全運航に鋭意取り組む一方、固定翼は日本航空より受託した今年から2年間に亘るパイロット候補者への訓練を8月から大分空港で立ち上げる（このためにG58 Baronを増機します）ことに全力を投入していきます。

本田航空は盟友のような存在としてホンダフライングクラブと共に長い年月を歩んでまいりましたが、いよいよ来年（2014年）3月27日には創立50周年を迎えます。この1年、次の50年への新たな1歩を踏み出すために、従業員一同頑張ってまいりますので、皆様にもご理解とご支援を賜りたく、よろしくお願いいたします。



## ●実地試験合格（自家用操縦士）

大滝誠一様

自家用操縦士実地試験合格おめでとうございます。

まるで会社に出勤するがごとく、ブリーフィングルームで参考書を広げて勉強されている姿には、私だけではなく社員一同恐れ入った次第です。平成23年3月2日に初フライトして、1年10ヶ月余りで早くもゴール。奇しくも初フライトは私でした。バンクを少し多め（30°以内）にとると顔が引きつりそうになったのを記憶しています。

一時はソロに手間取りました。私なら気分が萎えてやめてしまったと思います。それを持ち前のガッツで乗り越え、いつも笑顔を決やさず訓練されている姿を見るにつけ、本当に見習わなければならないと感じました。

ついに目的を達成された大滝さんを見て、こちらこそ「ありがとうございました。」今まで通り楽しく飛びましょう。おめでとうございます。

石戸教官



No.10079 大滝 誠一様  
平成24年12月11日 JA33HA

## 新教官自己紹介

皆様初めまして。中村綱太と申します。

私は、本田航空乗員養成課程で事業用操縦士、計器飛行証明を取得し、この度ご縁がございまして本田航空で操縦教育証明を訓練し昨年11月に取得いたしました。

皆様には今後、操縦教育、ロングナビゲーション、クラブ大会などでお目にかかると思います。昨年の11月に教育証明を取得したばかりの新米教官で、不慣れなところもありますが、一所懸命、操縦訓練等業務に精進する所存でございます。

皆様と共に成長し、楽しく、時には厳しく（笑）フライトをしていきたいと思っています。見かけたら声をかけていただくと幸いです。

何卒よろしくお願い申し上げます。

私の今後の夢は航空業界を盛り上げるという事です。そして皆様が楽しく飛べる環境、今以上に訓練をやりやすい本田航空を作り上げていきたいと思っています。そのためには皆様と共に良い雰囲気を作り上げることが大切だと思っています。

何か御座いましたら遠慮なくお申し付けください。

教証 No.2083 中村 綱太



## 多発訓練基地開設のご案内

現在、神戸空港で行っている多発限定変更及び計器飛行証明訓練については、2013年6月1日より大分空港にも訓練基地を開設し二拠点で実施致します。

神戸空港では、法政大学の指定養成訓練に特化した運航を引き続行いますが、その他の多発限定変更及び計器飛行証明訓練は、大分空港にて実施します。

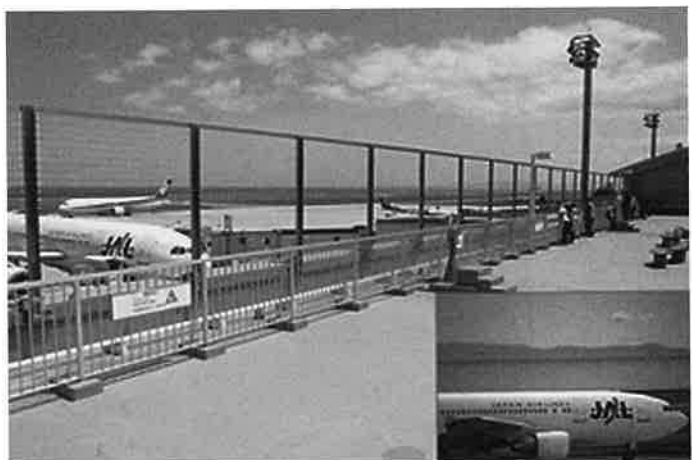
2013年8月からは、日本航空株式会社様の多発限定変更及び計器飛行証明訓練課程の自社養成訓練を受託することも決まりました。

神戸空港からホンダエアポートへフライトする、「G58 バロン体験操縦」は、引き続き大分空港からホンダエアポート間にて実施致しますので、是非ご利用下さい。



大分空港ターミナルビル正面

ターミナルビルから  
エプロンを望む



また、大分空港は、博多からも近く、別府温泉までは、車、バス等で20分程度となり、季節に合わせたご当地グルメも沢山ありますので、ロングナビゲーションも来年度は企画したいと思います。是非皆様からのリクエストをお待ちしております。

また、ご不明な点等は、下記までお問合せ下さい。

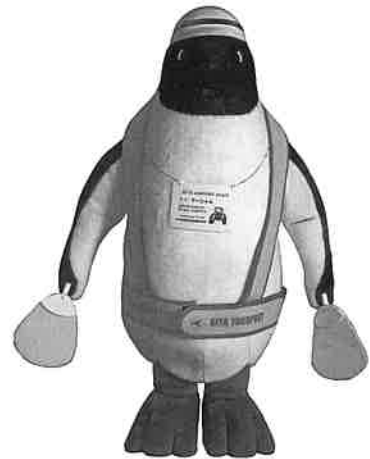
宜しくお願い致します。

**本田航空株式会社**  
**飛行機部飛行機訓練課**

**担当：中村**

**TEL049-299-1124**

**[nakamura@honda-air.com](mailto:nakamura@honda-air.com)**



大分空港マスコット  
「マーシャルくん」



別府温泉&湯布院



## 飛行競技大会レポート

5534 河合 秀晃

9月30日、いよいよ第40回本田宗一郎杯争奪飛行競技会の日がやってきました。

アマチュアのクラブで40年の歴史を誇る競技会を持っているところは、フライングクラブに限らずそうはないのではないのでしょうか。初代会長の本田宗一郎さんをはじめ、伝統あるクラブを築きあげ、発展させてくださった諸先輩方にただただ感謝申し上げるのみです。

最近はこのクラブの方々もお招きしての大会が多かったのですが、今年はホンダフライングクラブのクラブ員のみでの開催となりました。

お天気は下り坂。というより台風が近づいており、やや強めの風も吹くコンディションでしたので、270° スポットランディングは競技者の風の読みが勝負の分かれ目になります。前に飛んだ競技者の状況、アドバイザーから聞く風の状況、それからショートダウンウィンドでの機体の沈み方なども参考に五感を研ぎ澄まして定点を狙います。狙いすぎて届かず…、Go aroundの競技者も…。さあ結果は!!!



ノーフラップランディング  
接地は何点？

Go around!!





大会の余韻にひたる間もなく、台風の上陸に備えてはやめに撤収、機体避難とあわただしい終了となりました。

今回参加されたクラブ員の方々、本当にお疲れ様でした。また、今回も裏方として大会をささえてくださった教官をはじめ本田航空の皆様方、本当にありがとうございました。



優勝 益田さん



みなさん揃って

優勝 益田様	6位 吉田様
準優勝 河合様	7位 小野様
3位 大滝様	8位 新妻様
4位 宮嶋様	9位 阿波様
5位 柴田様	10位 宮田様



大会当日の天気図



機体避難作業開始！！

## ジュニアウイングス終了のご報告

ホンダフライングクラブ員の皆様、明けましておめでとう御座います。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

昨年クラブ員の皆様のご協力、そして(財)日本航空協会とのコラボの下、無事に「航空スポーツ教室」を終了する事が出来ました。川島町教育委員会生涯学習課”に提出した“活動を終えた後の感想”をここに載せ報告とさせていただきます。

### “ジュニアウイングス 2012 in 川島町”

“川島町地域子ども教室”の少年、少女の皆さん、明けましておめでとう御座います。今年もどうぞ宜しくお願い致します。

昨年11月17日(土)ホンダエアポートにご来場された“三保谷っ子くらぶ”、“出丸たんけんクラブ”、“小見野っ子くらぶ”の100名の皆さん“お元気ですか”！。

当日はたくさん遊びましたね、(財)日本航空協会による“プロペラ飛行機づくり”、うまくつくれましたか？ 飛行機を広い駐車場で飛ばしましたね、プロペラがブーンと音を立てて回り“大空に”飛んで行きましたね。

ホンダフライングクラブによる、ジュニアウイングスの“セスナ172S”はどうでしたか？ 1メートルの大きなプロペラが回り、“人を乗せ”時速200キロメートルでお空を飛ぶ本物の飛行機だったんですよ。みなさん操縦席にすわりましたね、コントロールホイールを右に左に、押したり引いたり(上下)しましたね。計器の説明も聞きましたか？ ナビゲーション(地図)も付いていましたね。お父さんの乗っている“くるま”とあまり変わらなかったでしょ。16才から練習できるんですよ…。

そして埼玉防災航空センターのヘリコプター、アグスタ式AW139(最大巡航速度306キロメートル)も格納庫で見学しました。ヘリコプターの上の大きなローター、広い室内と装備で空中消火や航空救急等を行うんですね、隊員の方がていねいに説明をしてくれましたね…。

(財)日本航空協会とジュニアウイングスから修了証をもらい、最後においしい！お弁当も食べましたね。私たちホンダフライングクラブのクラブ員も少年、少女の皆さんにお会い出来、また説明も出来て本当にうれしかったです。また今年もぜひ“ホンダエアポート”に遊びに来てください。お待ちしております!!!。

川島町教育委員会生涯学習課の皆さん、“子どもさん達”を引率して下さった先生そして保護者の皆さん、ご協力ほんとうに有り難う御座いました。



寒い中、丁寧に案内してくれたクラブの皆さん。有難うございました。



こんなにたくさんの子供たちが集まってくれました。

最後に（財）日本航空協会、本田航空㈱、埼玉県防災航空センター、教室の提供をして下さいました交通教育センターレインボー埼玉、そしてホンダフライングクラブ員の皆様、ご協力誠に有り難う御座いました。心から感謝をしております。

ジュニアウイングス担当理事

阿波孝一

# クラブ見学会レポート

5710 高野圭司

平成 24 年 10 月 5 日に行われた、JAL 安全啓発センター、海上保安庁第三管区海上保安庁本部羽田航空基地の見学会に参加させていただきました。

JAL 安全啓発センターですが、羽田空港の敷地内にあり、安全運航の重要性を再確認する場として、JAL グループの社員教育に使われている施設とのことです。大事故と向き合い、若い世代に空の安全を語り継ぎ、日々の運航業務に反映させるための永久的施設として設置されたことに、心から敬意を表します。

27 年前の夏、カーラジオから流れた遭難第一報の衝撃は、いまでも鮮明に覚えております。垂直尾翼、圧力隔壁等の実物を拝見し、係りの方の説明を伺いながら、いままで不明のままにしていたことの、新たな事実を確認することも出来ました。あの悲劇を繰り返さず、航空機利用者の笑顔があふれる空港を願い、また、自分自身の行動も、基本を怠ることがないように心を新たに致しました。

その後、同じく羽田空港の敷地内の海上保安庁羽田航空基地を訪問いたしました。海難遭難者の救助や、海洋環境の保護、海上の治安の確保などで、大活躍されている部署です。庁舎内で説明を伺っている時も、海難救助出動命令がスピーカーから流れておりました。24 時間態勢で、備えているそうです。

第三管区の管轄範囲は、茨城から静岡付近だそうです。

ハンガー内の、ヘリコプターと飛行機を見学することも出来ました。飛行機は、ボンバル 300 です。このシリーズは日本国内でも飛んでおり、お馴染みのタイプです。捜索時は、かなりな低空を飛行されるとのことです。APCH 訓練は、新潟空港なども使用されるとのこと。出合った記憶があるような気がします。



また、南西のあの島々まで出掛けることもあると伺いました。

説明していただいたパイロットの方々が、とても凛々しく感じられました。

今回も、貴重な見学、体験の機会を与えていただいた本田航空の皆様と、御協力いただいた訪問先の皆様に、あらためて感謝申し上げます。また、次回の見学会も楽しみにしております。ありがとうございました。

海上保安庁 羽田基地ハンガーにて

# ホンダフライングクラブ 定期総会・安全講習会のご案内

ホンダフライングクラブ事務局 鳥居 互

平成 25 年度のホンダフライングクラブ定期総会は 4 月 21 日（日）12:00 より例年同様  
本田航空隣接の交通教育センターレインボー埼玉 2 階会議室にて開催いたします。

また、総会終了後は日本航空機操縦士協会主催の航空安全講習会も開催いたします。

別途、皆様には往復はがきにてご案内させていただきますが、年一回皆様の意見を伺う  
事のできる大事な総会ですので大勢の会員のご参加をお願い致します。

昨年度の審議風景



又、クラブでは飛行経験、  
飛行時間の表彰も行います。  
表彰の申告用紙はクラブのホー  
ムページからダウンロードで  
きるようにいたしますが、郵  
送の方が都合が良い方は電  
話にて申告用紙をご請求お願  
いします。



昨年度表彰者の皆様

## 特定操縦技能の審査はおはやめに

皆様にご案内しておりました特定操縦技能の審査制度が平成26年4月1日より施行となります。その前に相当審査を受け合格していないと平成26年4月1日以降は飛行ができなくなります。

現在の機体の予約状況、操縦技能審査員のスケジュール等を考えると、夏以降は月に数名しか審査が行えないことも予想されます。

出来るだけ早い時期に審査を受けていただくことをおすすめ致します。

尚、この審査は貸出しのチェックアウトとは違いますのでお間違えの無いようご注意ください。

この審査についての調整は、飛行機訓練課中村が担当致します。

予約・問い合わせはメールまたは電話で承ります。

(フライト等のため出来るだけメールを活用願います。)

メール nakamura@honda-air.com

電話 049-299-1124

審査の内容

### 審査の内容 (口述及び実技により実施する)

- 運航に必要な知識
  - ※ 航空法規の改正点、最新の運航規則、最近の航空事故等を踏まえた留意事項 等
- 飛行前作業
  - ※ 重量重心位置、航空情報、気象情報、航空機整備状況、搭載燃料等の確認、飛行計画の策定・承認 等
- 空港等及び場周経路における運航
- 通常の離陸及び着陸並びに着陸復行及び離陸中止
- 基本的な計器による飛行
- 飛行全般における通常時の操作
- 異常時及び緊急時の操作
  - ※ 異常時及び緊急時の操作、着陸復行及び離陸中止については、実技審査中における口頭による審査を想定

15

## 新入会員紹介

No10190	大場 泰宣 様	2012. 11. 05	入会
No10191	古田 仁孝 様	2012. 11. 07	入会
No10192	石政 公庸 様	2012. 12. 01	入会
No10193	伊藤 正裕 様	2012. 12. 01	入会
No10195	清水 雅彦 様	2013. 02. 01	入会

## クラブ員の皆様へ



●ご案内のとおり特定操縦技能の審査を2年に一回受け、合格しないとPICでの貸し出しは出来なくなります。

すでに2月に審査を受ける会員の方もいらっしゃいます。下期は審査の希望者が多くなることが予想されますので、出来るだけはやめに受審されることをおすすめ致します。

●既にはがきでご案内のとおり2月に開催される親睦会にはクラブからの補助も出ますので、皆様お誘い合わせの上ご参加下さい。

ウィングニュース 223号

発行者/ホンダフライングクラブ事務局

〒350-0141

埼玉県比企郡川島町大字出丸下郷53-1

本田航空株式会社内

Tel 049-299-1111(代表)

